

## 山形市教職員辞令交付式 教育長あいさつ

皆さん、おはようございます。山形市教育委員会教育長拝命し2年目となります金沢智也です、どうぞよろしく願いいたします。アフターコロナを意識し、新たな始まりに様々な思いと願いを込め、校長のみ参集型での4年振りの山形市教職員辞令交付式を短い時間ですが開催することといたしました。そして、その令和5年度山形市教職員辞令交付式にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

例年のない雪の少ない冬が足早に去り、いつもより早く、やわらかで暖かな春を迎えております。草木の新芽も膨らみ、少しずつ春色の彩りがあたりに顔を見せ始め、爽やかなこれからの新たな始まりを感じるころです。本日の4月3日は、村山教育事務所において校長としての辞令を受けられた13名の校長先生にとって、そしてまた、ここにいる皆様にとって、新たな始まりに身の引き締まる思いをする特別な日ではないでしょうか。多くの期待と様々な不安とが入り交じった中で、皆様お一人お一人が新たな目標や決意を思い描いていることと思います。

そのような中ではございますが、はじめにお詫びを申し上げさせていただきます。先日の3月20日の臨時小中学校校長会議においても申し上げましたが、講師等の担い手不足により、小学校において予定していた数の教職員を配置できずに年度のスタートをお願いしている学校がございます。ご負担をおかけしますこととお詫び申し上げるとともに、今後も適正配置及び代替者等の人材確保に向け、村山教育事務所と協議を進めてまいるとともに、抜本的な改善を期し、さんさんプランの見直し等を中心に、県教育委員会に申し入れを続けてまいります。よろしく願いいたします。

さて、今年度も山形市教育委員会では、「郷土を誇りに思い いのち輝く人づくり」を本市教育全般における基本理念、「感動 感謝 信頼」を学校教育の基本理念とし、「豊かな心・確かな学力・健やかな体をもつ、主体性や創造性にあふれる子ども」の育成に引き続き誠心誠意取り組んで参ります。「豊かな心」、「確かな学力」、「健やかな体」という知・徳・体のバランスのとれた心身の発達や成長は、教育の不変の理念であります。

「主体性と創造性」は変化の激しいこれからの時代を、いのちを輝かせ、心豊かに生きていくうえで、欠くことのできない感性であると考えるところです。昨今の教育界はまさに大きな変化が求められていると言っても過言ではありません。新型コロナウイルスへの対応も一定の目途が立ち、アフターコロナの教育活動はどのようにあるべきか、各学校にお

ける創造性や独自性が求められる一年となります。

そのような中において、SDGsを推進する学校教育の在り方として、将来にわたって持続可能な社会を構築する担い手を育む教育を推進することは私たちの命題であります。具体的には、現代社会の様々な課題を自らの問題として捉え、身近なところから取り組むことにより、それらの課題解決につながる新たな価値観や行動を生み出し、それらにより持続可能な社会を創造していくことに繋がる学習や活動を展開していくことです。

山形市教育委員会としましては、それらの実現に向けて、各学校において次の3点について重点として取り組んでいただきたいと考えております。

1点目として、「魅力ある学校づくり」の実現に向け、「個別最適な学びと協働的な学びの一体的充実」を柱に、タブレット等を十分に活用し、日々の授業の充実に努めること。

2点目として、「安全・安心の学校づくり」の実現に向け、特にいじめ防止及び不登校対策として、組織的な職員体制で日々の児童生徒の変化に心を配り、温かな眼差しで積極的な対応に努めること。

3点目として、子供たちの豊かな人格形成のため、保護者や関係機関との連携を充実させるとともに、「地域と共にある学校」・「社会に開かれた学校」としてコミュニティ・スクールの機能強化に努めること。以上、3点を重点とし、49名の校長先生におかれましては、山形市教育委員会と連携を密にし、教職員の資質向上に努め、学校運営にご尽力いただきますよう重ねてお願いいたします。

いよいよ本日より令和5年度という新年度が始まります。

皆様には、これまで培った経験と指導力を発揮され、それぞれの学校において、山形市がめざす子どもの育成と「感動・感謝・信頼にあふれた学校づくり」に、邁進されますようお願いいたします。

最後になりますが、昨今、校長の重責は増すばかりです。健康には十分留意され、それぞれの学校や地域でご活躍されることを祈念し、私からの挨拶といたします。令和5年度、宜しく申し上げます。

令和5年4月3日 山形市教育委員会教育長 金沢 智也